

北海道高齢者住宅 事業者連絡会発足へ

施設経営の質向上目指し

高齢者住宅に関する情報交換や施設経営の質向上などを図るため、仮称「北海道高齢者住宅事業者連絡会」が発足する。設立説明会を2月10日午後6時から札幌市民ホールで開く。

NPO法人シーズネットや高齢者住宅の事業者、道勤労者住宅医療福祉協会などのメンバーが発起人。

高齢者住宅の普及促進に関する事業は、シーズネット（札幌、岩見太市代表）が札幌市の委託事業「安心・快適住まいのアップ事業」として、2009年度から実施。事業の委託期間が11年度末で終了することを受け、全道単位で活動ができる場をつくらんと連絡会を結成する運びとなった。

連絡会では、高齢者住宅の周知活動のほか、定期的な事業者勉強会の開催による情報交換や住宅入居者の相談受け付けなどの事業を展開。事業者同士のつながりをつくるだけでなく、高齢者住宅の経営の質や入居者の住居環境・生活環境の向上を目指す。

連絡会への入会は、高齢者住宅の事業者や研究者だけでなく、設計事務所や建設会社、不動産会社なども入会可能。会員は議決会員と一般会員で構成し、議決会員は個人で入会する場合はその個人に、法人や企業、団体などで入会する場合は代表者1名に議決権を与えられる。議決権を持たない会員は一般会員となる。年会費は1会員につき、1万円。

事務局はシーズネット内に置く。当面の活動は札幌中心となるが、全道の会員と情報交換ができる場づくりも進めていく考えだ。

設立説明会は2月10日午後6時から札幌市民ホールで開く。参加無料で、2月3日までの事前申し込みが必要。定員は150人。

また、設立総会は3月6日に札幌エルプラザで開く予定だ。

連絡会設立準備室では、建設関連企業の入会メリットとして、「事業者勉強会で高齢者住宅のニーズや問題点を知ることができ、ビジネスチャンスにつながる可能性がある。また、高齢者住宅の新設予定者とのコンタクトを取ることも可能で、自社の企画、営業にも役立つ」と話し、幅広く入会を呼び掛けている。

問い合わせは、仮称・北海道高齢者住宅事業者連絡会設立準備室（シーズネット、札幌・住まいのアップセンター事務局）、電話011（708）8567まで。